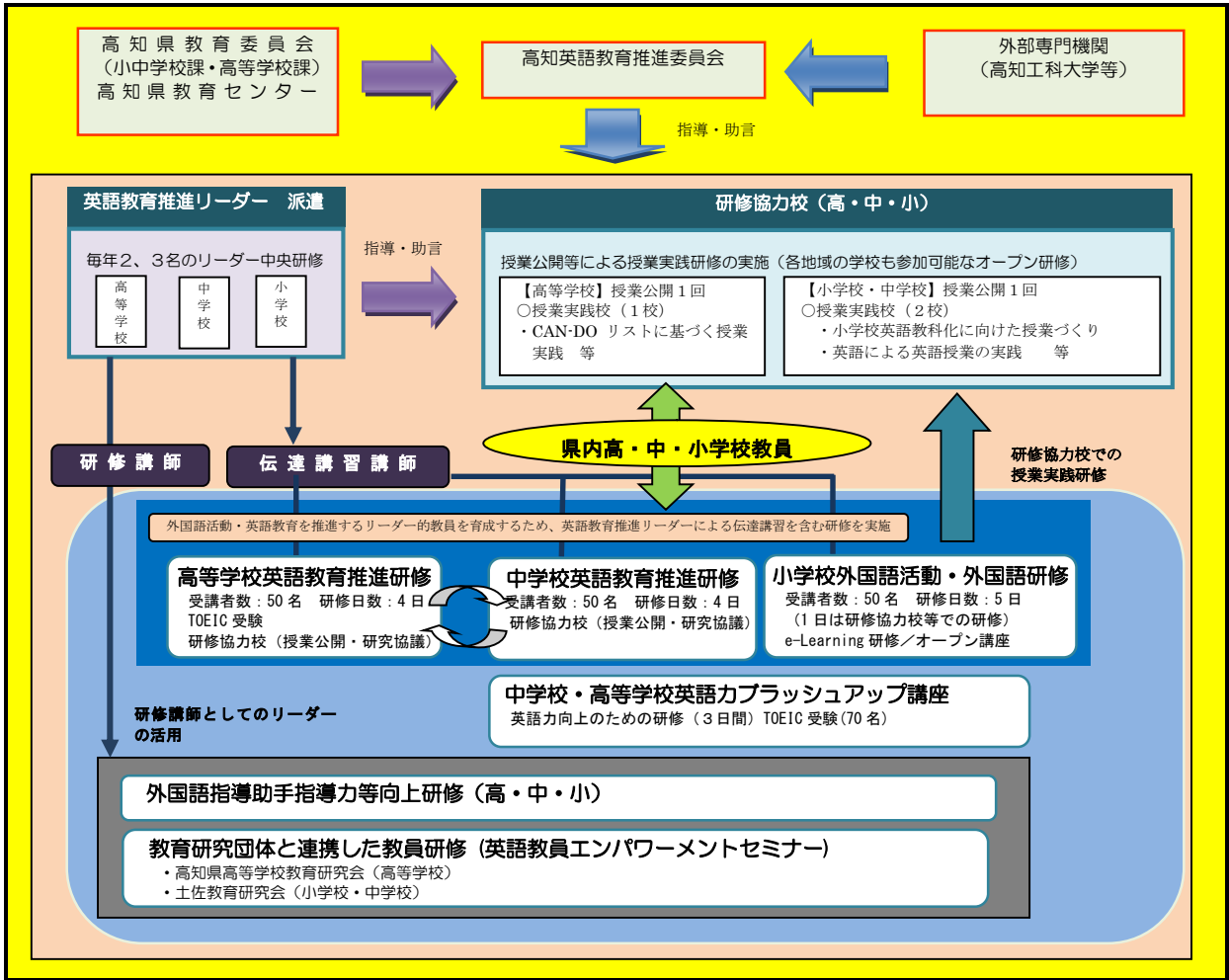


(様式3-2)

# 高知県英語教育改善プラン

実施内容

(1) 研修体制の概要



(2) 英語教育の状況を踏まえた目標管理

<b>①求められる英語力を有する担当教員の全担当教員に占める割合</b>	
<b>【現状】</b>	・求められる英語力を有する教員の割合（高等学校 63.0% 中学校 32.7%）
<b>【目標】</b>	・平成 30 年度までに高等学校 70%、中学校 40%の目標達成を目指し、平成 32 年度までに高等学校 75%、中学校 50%の目標達成を果たす。
<b>【方策】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語力と指導力の向上を目的とした研修（英語教育推進研修、英語力ブラッシュアップ講座、外国語教育コア・エリア実践研究指定事業等）を実施し、英語担当教員の英語力向上、求められる授業づくりについての内容や指導方法、学習評価等について研修を行う。</li> <li>・英語力ブラッシュアップ講座では1回目の講座（6月）で英語力を測定し、その後の講座等を通して更に英語力の向上を図り、最終の講座（8月末）で再び英語力を測定し、フィードバックを行う。</li> </ul>
<b>②求められる英語力を有する生徒の全生徒に占める割合</b>	
<b>【現状】</b>	・求められる英語力を有する生徒の割合（高等学校 31.8% 中学校 34.1%）
<b>【目標】</b>	・平成 30 年度までに高等学校 40%、中学校 45%の目標達成を目指し、平成 32 年度までに高等学校・中学校ともに 50%の目標達成を果たす。
<b>【方策】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語担当教員の指導力の向上を目指した上記①の研修の実施</li> <li>・中学校「授業改善プラン」（学校ごとの英語力向上に向けた PDCA サイクル）に基づいた学校支援訪問指導（授業公開・プランを基に協議）の実施</li> <li>・「高知これ単語彙検定」及び読み物教材の活用推進を通して、生徒の英語のコミュニケーション能力の向上を図る。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4技能を統合したパフォーマンステスト等を単元に位置付けることで、単元の各単位時間の役割を明確にし、英語による言語活動の時間を増やす。</li> <li>・年度ごとの達成値を把握し、成果のある取組の事例を取り上げ、次年度の参考として広く紹介し指導に役立てる。</li> <li>・平成27年3月に策定した高知県英語教育ガイドラインの行動計画に沿って、生徒の英語力について常に把握し向上を図っていくことを、研修や連絡協議会等で再度周知する。</li> </ul>
<b>③「CAN-DOリスト」の形式で技能別に設定した学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）</b>	
【現状】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習到達目標の整備状況（高等学校 設定100% 公表82.5% 達成状況の把握77.5%）（中学校 設定100% 公表20.8% 達成状況の把握65.1%）</li> </ul>
【目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度までに、高等学校・中学校とも学習到達目標を公表し、その達成状況を把握している数値を100%とする。</li> </ul>
【方策】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校、中学校ともに、平成27年度段階で「CAN-DOリスト」の作成については100%を達成している。今後は、学校支援訪問の際に公開する授業の学習指導案に「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標を位置付けさせるとともに、その評価方法についても指導助言を行う。また、各校が生徒や保護者等に「CAN-DOリスト」を公表することの意義についても周知する。</li> <li>・高知県教育委員会作成の中学校用4技能を測るテスト集（第1学年用は平成29年度作成・配布、第2、3学年用は平成30年度作成予定）の問題が「CAN-DOリスト」を達成するための問題であることを様々な研修の場で周知し、活用を促進する。</li> </ul>
<b>④授業における、生徒の英語による言語活動時間の占める割合</b>	
【現状】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が英語による言語活動を授業時間の50%以上行っている割合（高等学校46.3% 中学校83.9%）</li> </ul>
【目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度までに高等学校65%、中学校100%の目標達成を果たす。</li> </ul>
【方策】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践拠点校を指定し、域内の学校に対して、モデルとなる授業公開及び研究協議を実施し、研究成果の普及を行う。</li> <li>・生徒の言語活動の割合及び英語担当教員の英語使用量を増加させるため、英語教育推進リーダーによる研修を通して、英語による授業の進め方や効果的な言語活動の在り方について理解を深め、授業力の向上を図る。</li> <li>・県内全中学校教員が授業を通して学べる場として「研修拠点校」を県内3カ所に設置する。「研修拠点校」では、モデルティーチャーによる新学習指導要領の趣旨を具現化した授業を定期的に公開し、各校の教科会や近隣の教員で組織する「教科ネットワーク」の研修の場（off-JTの場）として活用する。</li> </ul>
<b>⑤「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況</b>	
【現状】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーキングテストの実施回数（高等学校1.9回 中学校2.9回）</li> <li>・ライティングテストの実施回数（高等学校1.3回 中学校1.6回）</li> </ul>
【目標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度までに高等学校はスピーキングテストを4回、ライティングテストを3回実施する。中学校は、スピーキングテストを5回、ライティングテストを5回実施する。</li> </ul>
【方策】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業改善プラン」（②参照）に基づく学校支援訪問や英語教育推進研修を通して、「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標の設定及び達成状況の把握を意識させ、指導と評価の一体化を図る。</li> <li>・英語教育推進リーダーによる研修を通して、「話すこと」及び「書くこと」の言語活動や評価の在り方について理解を深め、自校における指導と評価に生かし、授業改善に努める。</li> <li>・パフォーマンス評価の回数を増やし、評価に占める割合を増やす。</li> <li>・平成28年度作成・配付のリーダー教員による中学校授業実践DVD（話すことのパフ</li> </ul>

	<p>オーマンステストを含む) を基に、評価規準・基準及び評価方法について周知する。</p> <p>・県教育委員会作成の中学校用 4 技能を測るテスト集(第 1 学年用は平成 29 年度作成・配布、第 2、3 学年用は平成 30 年度作成予定) の活用を促進する。</p>
<b>⑥授業における、英語担当教員の英語使用状況</b>	
【現 状】	・教員が発話の 50%以上を英語で行っている割合 (高等学校 51.1% 中学校 83.9%)
【目 標】	・平成 30 年度までに高等学校は 60%、中学校は 100%の目標達成を果たす。
【方 策】	<p>・英語教育推進リーダーによる研修を通して、英語による授業の進め方や効果的な言語活動について理解を深め、生徒の言語活動の割合及び英語担当教員の英語使用量を増加させる。</p> <p>・研修協力校での授業実践研修に参加し、授業の進め方等について学ぶ。</p> <p>・教員の英語力を高める研修や講座 (①参照) において教員の英語力を高め、外部検定試験を受験することで教員の英語力を高める。</p>
<b>⑦域内小学校における相応の英語力を有する教員の割合</b>	
【現 状】	・相応の英語力を有する教員の割合 (0.3%)
【目 標】	・平成 30 年度までに 1%の目標達成を果たす。
【方 策】	<p>・小学校教員の英語力向上に向け、「小学校教員英語力向上セミナー」を年間 3 回実施する (対象は、これまでに育成してきた小学校外国語教育を推進するリーダー教員、及び平成30年度から各市町村の組織的な英語教育の推進体制を仕組みため配置するリーダー教員で30名程度)。</p> <p>・セミナーの最終日には英語力を測るため、英検 IBA を実施する。</p>
<b>⑧研修実施回数、研修受講者の人数及び全担当教員に占める割合</b>	
【現 状】	<p>・研修実施回数 (高等学校 4 回 中学校 4 回 小学校 5 回)</p> <p>・研修受講者数 (平成27年度から平成29年度まで)</p> <p>高等学校 106名 (63.1%) 中学校 108名 (57.1%) 小学校131名 (52.4%)</p>
【目 標】	・小学校・中学校・高等学校とも平成 31 年度までに 100%の目標達成を目指す。

### (3) 研修の体系と内容の具体

<p><b>【研修の体系】</b></p> <p>外部専門機関と高知県教育委員会・高知県教育センターとで、高知英語教育推進委員会を組織する。推進委員会の委員がそれぞれの研修について指導・助言等を行い、さらに研修の内容を深め、研修効果を高める。また、学校支援訪問等において、実際の授業に研修の内容が生かされているかという視点からも評価を行う。9月に中間評価、2月に総括の英語教育推進委員会の会議を行い、各研修等の目標達成状況等について確認し、改善のための方策を考え、適切にPDCAサイクルをまわす。</p>
<p><b>【研修内容の具体】</b></p> <p>研 修 名： 英語教育推進研修</p> <p>研修対象者： 高等学校・中学校・特別支援学校英語教員</p> <p>研 修 目 的： 英語教員の指導力、英語力を向上させる。</p> <p>内 容： ・英語教育推進リーダーによる授業力向上講座</p> <p>・外部有識者によるワークショップ</p> <p>・中高の英語教員による英語授業に関する協議</p> <p>受講予定者数： ・高等学校 42 名 (2 グループ) × 4 回</p> <p>・中学校 50 名 (2 グループ) × 4 回</p> <p>英語力評価テスト： 外部検定試験 (高等学校 TOEIC 中学校英検 IBA)</p> <p>研修の評価方法： 参加教員によるアンケート (各研修終了後、全研修終了後)</p> <p>次年度以降： 平成 31 年度まで実施 (平成 27 年度から 31 年度までに全中高英語教員受講)</p> <p>外部専門機関及び研修協力校とのかかわり： 大学教授からの助言・指導・講義等</p>

研 修 名：	小学校外国語活動・外国語研修
研修対象者：	小学校教員（外国語活動・英語指導のリーダー的教員）
研 修 目 的：	小学校教員の英語力・指導力を向上させる。
内 容：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育推進リーダーによる授業力向上講座（集合研修5日のうち1日は外国語教育強化地域拠点事業研究校で実施）</li> <li>・外部有識者によるワークショップ</li> <li>・e-Learningによる英語力向上（自宅や職場で適宜実施）</li> <li>・研修受講者は勤務校で外国語教育推進の中核者としての役割を担い、研修内容について、校内研修等を実施し、教育センターに実施状況を報告。</li> </ul>
受講予定者数：	小学校 50名（2グループ）×5回
英語力評価テスト：	e-Learning レベル診断
研修の評価方法：	参加教員によるアンケート（各研修終了後、全研修終了後）
次年度以降：	平成31年度まで実施予定（平成27年から平成31年の5年間ですべての公立小学校に英語の教科化に対応できる教員を1名以上育成する）
外部専門機関及び研修協力校との関わり：	大学教授からの助言・指導・講義等
研 修 名：	中学校・高等学校英語力ブラッシュアップ講座
研修対象者：	中学校・高等学校英語教員
研 修 目 的：	中学校・高等学校英語教員の英語力を向上させる。
内 容：	TOEIC 対策講座の実施
受講予定者数：	130名×4回（中学校は平成28年度から実施）
英語力評価テスト：	TOEIC 受験
次年度以降：	目標を達成できなかった教員へのフォローアップ研修（e-Learning等）
外部専門機関及び研修協力校との関わり：	外部講師からの助言・指導・講義
研 修 名：	英語教員エンパワーメントセミナー
研修対象者：	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校英語教員（希望者）
研 修 目 的：	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育に関する知識の習得と実践的指導力・教科の専門性を向上させる。</li> <li>・教育研究団体と連携して研修を実施することにより、自主研修組織を活性化させる。</li> </ul>
内 容：	外部講師によるワークショップ
受講予定者数：	40名
研修の評価方法：	参加教員によるアンケート
次年度以降：	小中高の教員が交流できる自主研修組織を活性化させるため、継続実施予定
外部専門機関及び研修協力校との関わり：	大学教授からの助言・指導・講義等
研 修 名：	高知県外国語指導助手指導力等向上研修
研修対象者：	外国語指導助手、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校英語教員
研 修 目 的：	「語学指導等を行う外国青年招致事業」（以下、「JETプログラム」という。）による招致外国青年のうち、市町村（学校組合）立学校及び県立学校において語学指導に従事する者（以下、「外国語指導助手」という。）に対し、一層効果的な語学指導をするために必要な知識・指導技術等を習得させるとともに、外国語教育に係る諸問題について研究協議を行い、本県の外国語教育の充実を図る。
内 容：	外部講師によるワークショップ
受講予定者数：	162名
研修の評価方法：	参加教員によるアンケート
次年度以降：	継続実施予定
外部専門機関及び研修協力校との関わり：	大学教授からの助言・指導・講義等

## (4) 年間事業計画

月	都道府県等の取組	外部専門機関等
4月		
5月	英語教育推進リーダー 打ち合わせ会 高知英語教育推進委員会 小学校外国語活動・外国語研修Ⅰ  中学校・高等学校英語力ブラッシュアップ講座①	(依頼予定) 高知工科大学 長崎政浩教授 教科研究センター 北原初枝 アドバイザー 外部試験受験
6月	英語教育推進研修(高・中)Ⅰ 中学校・高等学校英語力ブラッシュアップ講座②	外部講師(未定)
7月	英語教員エンパワーメントセミナー 英語教育推進研修(高・中)Ⅱ 小学校外国語活動・外国語研修Ⅱ・Ⅲ  小学校教員英語力向上セミナー①	文教大学 阿野幸一教授 国際教養大学 内田浩樹教授 上智大学 シャンタル逸見 准教授 外部講師(未定)
8月	英語教育推進研修(高・中)Ⅲ・Ⅳ 小学校外国語活動・外国語研修Ⅳ 教育課程課程研究協議会(外国語) 中学校・高等学校英語力ブラッシュアップ講座③ 中学校・高等学校英語力ブラッシュアップ講座④ 小学校教員英語力向上セミナー②③	外部講師(未定) 外部講師(未定) 外部講師・外部試験受験 外部講師(未定)
9月	高知英語教育推進委員会	高知工科大学 長崎政浩教授 教科研究センター 北原初枝 アドバイザー
10月	研修協力校における授業公開(9月～11月) 小学校外国語活動・外国語研修Ⅴ(研修協力校等で実施)	
11月		
12月	高知県外国語指導助手指導力等向上研修	(財)実用英語推進機構 安河内哲也氏
1月		
2月	教育課程研究協議会(外国語) 高知英語教育推進委員会 英語教育推進リーダー 打ち合わせ会	外部講師(未定) 高知工科大学 長崎政浩教授 教科研究センター 北原初枝 アドバイザー
3月		
【その他の取組】 外国語教育コア・エリア実践研究指定事業、英語教育拠点校事業、英語教育強化プロジェクト事業		

